

職業奉仕の概念の誕生

1910 年に開かれた全米ロータリー第1回大会の大会長、アーサー・シェルトンの言葉

「職業は社会に奉仕する手段である」

19世紀までの商業の特徴は他人を出し抜くという「競争」であったかもしれないが、20世紀の特徴は「協調」であるべき

職業奉仕の理念

職業は人類の奉仕の科学である

最もよく奉仕するもの、最も多く報いられる

「He profits most who serves best」

ロータリークラブの世界的な広がり

「自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献し、結果として自分も報いられる」という考え方には、20世紀初めの、まだ富が一部の人に集中し所得格差が大きかった時代において、世に出るチャンスを狙っている新時代のリーダーたちに熱狂的に受け入れられ、ロータリーの考え方が全世界へ浸透するきっかけになった

「知りながら害をなすな」

経営学の神様、ピーター・ドラッカーはプロフェッショナルの倫理を、2500年前のギリシャの名医・ヒポクラテスの誓いを引用

「欠陥があることを知りながらその真実に蓋をしてはならない、見て見ぬふりをしてはならない」という教え

「道徳なき経済は犯罪であり、経済なき道徳は寝言である」

経世家、農政家、思想家 二宮 尊徳

「報徳思想」

- ・真心をもつこと
- ・勤労であること
- ・自分の立場をわきまえて収入に応じた生活をすること
- ・生活の中で余ったお金は家族のために貯めておき、また、他人や社会のために譲ること

「買い手良し、売り手良し、世間良し」三方よし

自らの利益のみを追求するのではなく、買い手が満足するものを提供することで信用を獲得し、利益がたまつたら無償で橋や学校を建てたりと、近江商人は社会に貢献できてこそ良い商売と言える

ロータリアンとしての職業奉仕の大原則

ロータリーの目的 第2、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること

中核的価値観

親睦 高潔性、多様性 奉仕、リーダーシップ

職業奉仕と社会奉仕の違い

- ・「He profits most who serves best」

「He」最も多く報いられている人

「Who」最もよく奉仕している人

→職業奉仕において、奉仕する人と報われる人は同一人物

- ・見返りを求める奉仕 →社会奉仕



■第 2770 地区職業奉仕委員会 委員長 辻本 恵太様 (大宮 R C)



スマイル報告

■副 SAA 田口 修身



進行は、副 SAA
吉田 浩士が務めま
した



出席報告

■出席委員会 副委員長 永井 伸剛



クラブ協議会

中間決算報告

■進行 会長 横溝 一樹

拍手をもって承認されました



理事会決議 (1/19 開催)

議事1 11月12月事業報告議案

- ・11月大宮駅こども書道展 事業報告 平野幹事 承認
- ・12月クリスマス家族夜間例会 事業報告 今井委員長承認

議事2 3月例会事業計画書

1. 3月第一例会 イニシエーションスピーチ 小林委員長 異議なし 可決
2. 3月第二例会 オープン例会「球舞」 風岡委員長欠席により平野幹事が代行で上程 大宮ろう学園の子どもたちに効果があるよう実施をとの意見あり 可決
3. 3月第三例会 財団委員会 卓話 福田委員長上程 異議なし 可決
4. 3月第四例会 大宮西 R C創立記念 親睦交流旅行 井田委員長 上程 行程表確認。横浜、価格もバスチャーター等で 26,000 円前後